

佳作

バレエ発表会までの道のり

神奈川県 湘南白百合学園小学校五年 池田 芽生

私が通うバレエ教室では、一年に一度大きな発表会が、七月下旬に鎌倉芸術館で開きいされます。今年も、四月から発表会に向けて練習が始まりました。グループで、与えられた小品集と Coppélia の中の役を踊り演じます。振付の細かい所も覚え、さらにグループでのスムーズな調和の取れた踊りを目指します。

発表会の練習は、過こくなものになりますが、舞台に立ち、自分が美しく踊る姿を想像すると、練習にも熱が入ります。また、厳しい練習だからこそ、そこから得るものも大きく、踊りがより美しいものに成長していくのです。発表会の振付は、毎年一年かけて成長してきたチャレンジの入った振付となっています。

今年は発表会まで、色々なことが起こりました。

ついに本番の幕が上がり、私は、第一と三幕に出ました。目の前には沢山のお客様。今までの不安を吹き飛ばすように、とにかく笑顔で美しさを忘れずに役を演じ、皆と楽しんでもらえるようひろうしました。舞台そででは、皆で舞台上の子達のことを手拍子や声かけをして応援し、まさに結束していました。皆の一員として、一緒につくる舞台の素晴らしさを実感していました。最後のお辞ぎの時、私はあふれ出そうなうれし涙をたえながら、満面の笑顔でお客様と支えて下さった先生方への感謝の気持ちをこめてお辞ぎをしました。父と母も、沢山ほめてくれて、私も沢山お礼を言い、思い残すことなく発表会を終えました。

発表会までの道程は、険しいものですが、乗り越えると、本当に楽しく思い出に残るものだと改めて実感しました。来年の発表会も全力で楽しみ、より高みを目指して、日々練習にはげんでいきたいと思いました。

六月中じゅん、私は、学校の体育でようついをねんざし、練習を二週間休むことになりました。背中から首にかけての痛みは、動くときと激痛が走り、こんな状態で完治するのだろうか、発表会に間に合うのだろうか、不安感で一杯になりました。とにかく治すことに専念し、ほぼ完治後練習を再開したところ、今度は、発熱で一週間欠席することになりました。皆が着々と練習を進めている中、私は練習期間を大幅に失ってしまいました。ようやく復活できると、今度はマスターしなくてはいけない追加の振付やポーズがあり、皆に迷わくをかけてしまうのではとさらにあせりました。何とか短期間で必死に覚えましたが、いつもより長時間の集中練習も、相当つかれていました。必ず出席して集中して取り組みました。特に、バレレッスンを慎重に、正確に美しくすることを心がけて、先生の話をよく聞き、本番までの日々、一生けん命ベストを尽くしました。

いよいよ本番当日、リハーサル直前まで、私はとてつもなくきん張っていました。リハーサルでは、思った以上に重心が軽く感じられ、のびのびと踊ることができ、後は楽しんで本番に望むだけだという気持ちになりました。